



とよ だ みつ はる
豊田 光治

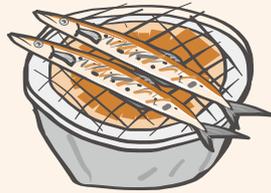
にほんきょうさんとうつしぎだん
日本共産党津市議団

原発に頼らないエネルギー政策の地域発信を

問 再生可能な自然エネルギーの利用、例えば川の流れを利用した小水力発電、エネルギー転用可能な植物の計画栽培、間伐材のチップ燃料化、設置可能な公共施設等への太陽光、風力発電などの設置を推進し、原発に頼らないエネルギー政策を地域から発信せよ。

答 小水力発電については、メーカーによって3Wから10W程度の簡易な施設が開発されており、試験的に導入している自治体もあることから、その状況を確認しながら研究を進めていきたい。

再生可能エネルギーに関しては、今後、国の各省庁から色々な施策が出てくると思われるが、津市においては、再生可能エネルギー全体の計画を取りまとめている環境部が主体となり、全庁的な取り組みを推進していきたいと考えている。



●その他の質疑・質問●

- 豊里ネオポリスの住居表示変更について、市実施のアンケートでは「実施してほしくない」と「未回答」を合わせて66%もある。実施を進める前に、住民の理解を得るべきだ
- 中央公民館のセンターパレスへの移転問題について
- 老朽化している白塚・河芸地区の海岸堤防改修と河芸町島崎町線の一体的整備促進を など



▲老朽化し、早期改修が求められる白塚・河芸地区海岸堤防



こ すげ まさ し
小菅 雅司

しんわかい
津和会

お城を活かしたまちづくりのために

問 お城自体の価値を上げるために、まずハード面の整備として、石垣の整備と植栽や立木の整理をして、市民や観光客にとって心地よい空間づくりを進めるべきである。

県の史跡でもあり、また市民の憩いの公園でもあるお城全体のめざすべき姿（デザイン）をどのように描き、どこが責任をもって、具体的にどのように整備をすすめるのか。

答 石垣の積み直し修理や立木の整理については、建設部をはじめ関係部局や、三重県の指定史跡でもあることから、三重県教育委員会とも調整し、計画的な保全に努めたい。

お城を市民の憩いの場として整備された原点に立ち返り、文化財は文化財として石垣の保全をきっちり行い、建設部は公園として、その管理を徹底していかなければならないと思っている。

いろいろな方からお城に関するご意見やご要望、ご提言などをいただいております。津城跡の保存管理計画を踏まえ、市長のもとで市全体として、しっかりと整理をしなければならない時期に来ていると認識している。

●その他の質疑・質問●

- お城の価値を上げるためのソフト面の整備として、お城や藤堂高虎公に関する歴史資料館の設置を
- 中心市街地の活性化に向けたお城の活かし方について
- 今年創立60周年を迎えた津市の財産である三重短期大学の現状とこれからのあり方について
- 劇場法制定を受けての取組は
- いじめの考え方と取組 など



▲お城の価値を上げるためにハード・ソフト両面の整備を